

大学の4つのグローバル化 1.学生のグローバル化 2.教員のグローバル化 3.職員のグローバル化 4.キャンパスのグローバル化

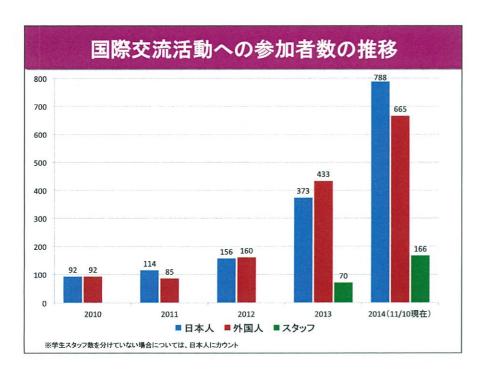
無いのは、ニーズか?ニーズを見極める目か?

職員 言い訳、ある!ある!

- ●これまでも、特に誰からも不満は出てません。
- ●前にやったけど、参加者も少なかったし。
- ●多分、需要がないと思いますよ。
- ●誰か担当者を付けてくれたらやりますけど。
- ●機材も、お金もないですし。
- ●土・日・祝日の開催は、ちょっと。平日なら大丈夫です。
- ●面倒くさいですね。手間もかかりますし。。
- ●事故とかあると大変なんで。



環境整備 <ハードウェアとソフトウェア> ハードウェア ソフトウェア ■ラーニング・コモンズ ■グローバル・アーカイブス ■国際交流スタッフ(SIED)制度 ■国際交流ラウンジ ■メディテーション・ルーム ■学習研究支援チューター制度 ■<国際交流>森 ■出迎えボランティア、 ■インターネット、 スタディパートナー TV会議システム ■外国語新聞、外国語の図書・ ■多言語対応PC、DVD 雜誌·資料、海外放送·DVD ブレーヤーのリージョン対応 ■教務システム等の各種システ ■看板・案内板の多言語対応 ムの他言語対応 ■海外放送受信設備 ■教材・申請書・掲示物の翻訳 ■ハラル食 ■各種教育プログラム



留学生への学修支援・国際交流の活性化



活動(支援)の場を提供

- 1. ラーニングコモンズの設置
- 国際交流ラウンジの 再整備
- 3. Global Archivesの整備
- 4. ライティングセンター の設置 ※日・英の対応

国際交流の活性化



国際交流活動の活性化

- →交流機会の創出
- 1. 外国人・日本人同士の交流
- 2. 地域(文化)との交流
- 3. 外国人学生との交流
 - ●SAP留学生
 - ●交換留学生
 - ●短期受入れプログラム留学生
 - ●日本語・日本文化教育 センター生
 - ●留学生別科生
- 4.日本人学生との交流

国際交流活動の強化の背景・契機

- 1. 日本人学生の不満
- 2. 外国人留学生の不満
- 3. G30中間評価で顕在化
- 4. 交流の効果・成果
- 5. 事務室移転
- 6. 学生の力を活用



国際交流活動の見直し STAGE 1

<改善点>

- ●事務室の近く・隣に配置(広さも拡大)
 - →国際交流の場として再構築
- →活動状況を把握し、管理を強化
- ●スタッフの常駐化
- ●カラフルな机・椅子に変更
- →入りやすい雰囲気づくり(ソファーは撤去)
- ■関連資料(日本・京都紹介の書籍・雑誌・地図、 観光ガイドブック、映像資料等)、機材の充実
- ●交流ラウンジをフルに活用したイベントを企画

国際交流活動の見直し STAGE 1

■国際交流ラウンジの移転に伴う再整備

<問題点>

- ●事務室から遠い・狭い
- ●スタッフ不在のため、管理が不十分
 - →国際交流とは無縁の活動も。。。
- ●実質、資料置き場の機能のみ
 - →交流は自主的=勝手にどうぞ!
- ●交流イベントでの利用は、年間数件程度。

充分な活用がされていなかった。。。

国際交流活動の見直し STAGE 2

■国際交流活動の刷新

<問題点>

- ●国際交流の機会が少ないとの不満。
- ●参加したい企画が無い。
- →**マンネリ**(毎年同じ)。ハロウィン、クリスマス、七夕…
- ●「外国人留学生に日本・日本文化を教える」企画のみ →外国人留学生のための企画が中心
- ●「飲んで食べて終わり」のパーティ形式ばかり。
- →否定的な意見
 - ・具体的な成果が見えない。
 - アカデミックな内容?中・高と同じレベル?

国際交流活動の見直し STAGE 2

<改善点>

- ●大規模歓迎会パーティを廃止し、予算を捻出
 - →中小企画・お金をかけずともできる企画を できるだけ、たくさん実施
 - ・参加できる機会と学生数を増やす!
 - →OB/OGの活用
- →**体育会やサークル**等、内部に協力を依頼 ・サークル部員のグローバル化も
- ●「外国人留学生から教わる」企画も導入
 - →日本人学生の参加者が増加(逆転)

国際交流活動の見直し STAGE 3

■国際交流支援学生スタッフの募集・採用

<問題点>

- ●担当職員の負担が大きい。=他にも仕事が...
- ●開催回数が少ない。
- →希望人数が多いと抽選に漏れて参加できない。
- ●参加したい面白い企画が少ない。
- →マンネリ(毎年同じ企画を繰り返すだけ)。
 ハロウィン、クリスマス、七夕...
- →職員目線の企画⇔学生の企画との食い違い 学生はとにかく楽しければ良い?=飲食、旅行

国際交流活動の見直し STAGE 2

<改善点>

- ●企画内容の種類・質の充実
 - →バックグランドや文化·慣習を理解·共修
 - →「大学ならでは」(高校ではできない)の アカデミックで多様な企画
- ●「大学ならでは」のリソースを活用
 - →設備(大学交流ラウンジ、LC会館)の活用
 - →多様な人材(教職員、OB/OG)に協力依頼 (講演、実演、工場見学)
- →体育会やサークル等、内部に協力を依頼

国際交流活動の見直し STAGE 3

<改善点>

- ●学生の力を信じ、活用(職員の増員は、難しい)
- ※早稲田大学(ICC)の活動を参考に。
- →教育的側面="学生を育てる"
- ●学生目線の企画の採用←留学生課企画も実施
- →大学が企画をチェック・指導(丸投げではない)
 - •社会人基礎力を育成
 - ・ノウ・ハウの蓄積(データベース)化・継承
- ●学生・職員・大学間の交流・連携・スキルアップ
- →早稲田大学・関西大学との合同研修会の開催

国際交流支援学生スタッフ制度の導入

●背景

- ・職員の限界(時間、業務量)←交流の機会をもっと増やしたい
- ・学生の能力や意欲を活かせる場(正課&課外)がもっと必要
- →参加する学生だけでなく、**学生スタッフもグローバル化**し、 社会人基礎力の育成をはかる。→リーダーとなれる人物を育成

●経緯

2013年 9月 募集

2013年 10月 今出川校地5名、京田辺校地6名を採用

2014年 2月 京田辺校地で3名を追加採用

2014年 2月 今出川校地で7名を追加採用

2014年 10月 京田辺校地で5名を追加採用

国際交流支援学生スタッフ制度の導入

●構成 合計23名

(内訳)

•男女別 男性 8、女性 15

•国籍別 日本人 21、留学生 2(韓国 1、インドネシア 1)

•**学年別** 1年 5、2年 4、3年 6、4年 7、大学院 1

•学部•研究科別

<今出川キャンパス>11

合計	11
グローバル地域文化学部	2
法学部	2
商学部	2
文学部	2
経済学部	3

<京田切キャンパス>12

合計	12
文化情報学研究科	1
スポーツ健康学部	1
生命医科学部	1
心理学部	3
グローバル・コミュニケーション学部	6
(水田足112.37)	-

国際交流支援学生スタッフ制度の導入(2013.10~)





国際交流支援学生スタッフ制度の導入

●活動内容

- ・国際交流活動の企画・運営(原則、開講期間中) 打合せ(今出川校地:2週間毎、京田辺校地:毎週) 企画会議(セメスター毎に、各校地毎に1回、全体会1回)
- 国際交流ラウンジでのデスクワーク
- ・留学生オリエンテーション(4月/9月)での国際交流活動の紹介

●待遇

・ボランティアベース(無償) ※イベント実施、常勤デスクワークの実働時間は有償(時給890円)

国際交流ラウンジ等における活動

World Music

留学生の母国の音楽(カントリーミュージック等)について紹介する。

- Brown Bag Talk お昼ごはんを持参して、気軽に留学生と日本人で交流する。
- News Watch

留学生や日本人で日本語のニュースを見て、ディスカッションする。

Book Club

留学生と日本人で日本の名作を音読し、語句の解説などの後に ディスカッションする。

●お話の国

テーマ(マンガ、ジブリなど)を決めて、気軽に留学生と日本人で ディスカッションする。

World Café

留学生が母国の飲み物やお菓子、それらにまつわる文化や背景、習慣を 紹介する。また、実際に一緒に作り、食べながら、ディスカッションする。

新入生歓迎行事(年2回)における活動

防災訓練

京都市市民防災センターで、強風体験、地震体験、消化訓練等を体験する。

● 座禅体験

建仁寺で座禅を体験、和菓子を頂く。

● ハイキング

五山送り火で有名な大文字山に弁当持参でハイキングする。

● 京都散策ツアー

伏見稲荷大社、五山送り火で有名な大文字山に弁当持参でハイキングする。

新入生歓迎行事(年2回)における活動

Meet Japan

学生サークルの協力のもと、茶道、琴・笙の雅楽演奏、書道、折り紙、生け花を留学生が体験する。

Open Lounge

日本人学生が来日直後の外国人留学生を茶菓でおもてなし、サポートする。

- Japanese Cooking Class プロの調理師を招き、和食(肉じゃが等)の作り方を教わった後、実際に 留学生と日本人の混成グループで調理する。
- Wagashi Making Experience
 老舗の和菓子に行き、和菓子作りを体験する。
- Educational Trip in Kyoto 京都にある工場や寺院を見学する。製茶工場・伏見稲荷大社等。
- 校祖墓参

校祖である新島襄や新島八重、山本覚馬の墓がある若王子山同志社墓地にお墓参りし、その後、哲学の道を散策する。

留学生課企画の国際交流活動

- International day 日本人学生と外国人留学生の交流会。
- Christmas Gathering 各国のクリスマスを通して、交流し、親睦を深める。
- Culture Day 各国の文化を採り上げ、ディスカッションする。
- World Kitchen

教職員食堂の空き時間に調理師の指導の下、調理を実習。

●餅つき

留学生課と生協の共同イベント。迎春イベントとして実施。

● IFTAR食事会

ラマダン明けの7月に実施、イスラムの食事を生協が提供。日本人も参加可。留学生課と生協の共同イベント。

Language Hour

日本人学生と外国人留学生で英語と日本語の語学交換を行う。

SIED企画による国際交流活動

- Brown Bag Talk お弁当を食べながら、各国の行事や習慣を採りあげ、ディスカッションする。
- ◆ お話の国 日本のコンテンツ(漫画やアニメ等)を話題に、ディスカッションする。
- Book Club 日本の童話や小説を朗読し、感想を述べ合う。
- Doshisha Intercultural Presentation
 外国人留学生の出身国の文化、観光、大学生活等について紹介する。
- New Watch TVニュースの報道映像や新聞記事などを話題に、ディスカッションする。
- Scavenger Hunt クイズを解きながら、キャンパスの施設や設備、本学の歴史等を知ってもらう。
- Picnic キャンパスの周辺(御所など)を散策、お茶やお菓子を食べて交流する。
- Language Exchange Event「Speak Up!」
 日本語と英語で様々なトピックスについて会話し、交流する。



SIED企画による国際交流活動

- Lunch Talk
 英語以外にも日本語・中国語・コリア語・ドイツ語・ロシア語・フランス語、スペイン語等で交流する。
- Japanese Traditional Play
 日本の伝統的な遊びを体験する。
- 京都散策ツアー 京都の寺や神社などを散策する。
- 京 ☆ インターナショナルチャンネル 京都の企業やお店(OG/OB等)を訪ね、海外に紹介する。
- Global Sushi 生協食堂の協力を得て、留学生がすし作りを体験する。
- 流しそうめん 生協食堂の協力を得て、京田辺キャンパス内の竹を切り出して加工、留学生に 流しそうめんを体験してもらう。
- Let's make Thanksgiving Pie アメリカの感謝祭のデザートであるアップルパイ作りを体験する。
- カラオケ大会 外国人留学生が母国の歌を歌う。

Find us on Facebook!!

http://fb.com/DoshishaU.IC



国際交流活動の今後 STAGE 4

■課題

- ●交流活動の広報の強化=まだまだ認知度は低い

- →Facebook、LinkedInによる発信の強化
- →入学時の学部オリエンテーションでの周知?
- ●企画の<mark>質の向上</mark>(開催時期の適正化、タイムリーな 企画、運営力の向上)
- →新規参加者の獲得=交流レベル別にメニュー
- →参加者の満足度の向上=スタッフのSDを強化
- →リピーター・ファンの維持=新たな協力者の発掘
- ●カフェの併設?
- ※学生の動線を考慮した交流場所の設置をすべき!

国際交流活動の今後 STAGE 4

- ■新たな展開へ
 - ●グローバル・キャンパス促進委員会への発展
 - →大学教職員も委員として参画
 - →大学のグローバル化(グローバル・キャンパス化) への提言機能
 - ●地域住民や小・中・高の教育機関(学内諸学校 だけでなく)との連携
 - ●企業や地方自治体・公共団体との連携

国際交流活動の今後 STAGE 4

■新たな展開へ

- ●私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金の活用 ※「グローバル化」枠が新設(平成26年度)
- →国際交流活動について申請、採択
- 国際交流ラウンジにキャンパス間TV会議システム、 プロジェクタ、ビデオカメラ、デジタルカメラ、パソコン、 イベント用マイク・スピーカー等を整備
- ■国際交流ラウンジからグローバル・ラウンジへ
- →ラーニング・コモンズとの連携の強化
- →質・内容の充実
- →交流スペースの拡大・設備の充実
- ※京田辺ラーニング・コモンズの新設

